



新学術領域研究「天然物ケミカルバイオロジー」 地区ミニシンポジウム（名古屋）

会期：平成27年5月14日（木）13時～18時

会場：名古屋大学 野依記念講演室（名古屋市千種区不老町）

主催：新学術領域研究「天然物ケミカルバイオロジー～分子標的と活性制御～」総括班

協賛：名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所(ITbM)

名古屋大学博士課程教育リーディングプログラム「グリーン自然科学国際教育研究プログラム」(IGER)

世話人：名古屋大学大学院生命農学研究科 西川俊夫 (nisikawa@agr.nagoya-u.ac.jp)

事前申込：不要，参加費無料

詳細：領域研究 URL: <http://chembiochem.jp/>

プログラム：

13:00-13:05 開会の辞

13:05-13:50 宮崎雅雄（岩手大学農学部）

「完全肉食動物への進化で獲得したネコ特有なケミカルシグナルの生合成機構」

13:50-14:35 糸井史朗（日本大学生物資源科学部）

「フグにおける TTX の生物学的役割」

14:35-15:20 酒井隆一（北海道大学大学院水産科学院）

「海洋生物の神経活性物質」

15:20-15:40 Coffee Break

15:40-16:25 三輪佳宏（筑波大学医学医療系）

「ほ乳動物体内の非侵襲蛍光イメージング」

16:25-17:10 臼井健郎（筑波大学生命環境科学研究科）

「抗ウイルス活性物質 eudistomin C の標的分子同定と作用機構解析」

17:10-17:55 本間光貴（理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター）

「構造インフォマティクスに基づくインシリコ創薬」

17:55-18:00 閉会の辞